

町政を問う

12月議会では6人の議員が登壇し、

町の考えをただした。

Q 河川の監視カメラを増設してはどうか

A 県に対し、追加要望するとともに
神戸町としても、前向きに検討していく

林 利雄 議員



加納川に設置されている監視カメラ

(1) 8月下旬、非常に強い台風で杭瀬川及び奥川の水位が上昇し、新西保区と更屋敷区の一部、8世帯24名に避難指示、さらに新西保区の67世帯169名に高齢者等避難が発令された。これらの指示は、どのような手順で発令されたのか。

(2) 神戸町には、柳瀬の平野井川、大字神戸地内

の東平野井川、和泉の菅野川などいくつかの河川がある。リアルタイムで水位の上昇を把握し、住民の方々を水害から守るためには、監視カメラが必要不可欠であると思う。

町内の水位計及び監視カメラの整備状況はどうなっているのか。また、河川の監視カメラを増設してはどうか。

A 町長

(1) 防災行動計画（タイムライン）に基づき、災害本部を立ち上げ、降雨量などの気象データや、国・県が管理する河川の水位計の状況、現地への職員派遣による状況確認をした上で、避難指示等の発令を行っている。

(2) 国の管理河川の損斐川では、水位計が2カ所、監視カメラが1台設置されている。県の管理河川では、水位計が6カ所、監視カメラが2台設置されている。

現在のところ、神戸町独自の水位計及び監視カメラの設置はない。

河川の監視カメラについては、河川の水位上昇を的確に把握し、浸水被害の予測、さらには住民への迅速な避難情報発令に繋がれることから、重要であると考え

る。そのため、監視カメラの増設について、県に追加要望するとともに、神戸町としても、設置について、前向きに検討していく。

Q 公共下水道整備事業について

公共下水道整備事業において、神戸町の接続率は低いですが、今後、加入促進に向けて、どのように取り組んでいくのか。

A 町長

現在、経済的負担を軽減するために、奨励金制度と利子補給制度の2つの制度を設けている。

下水道使用料収入の増加に繋げるためにも、町広報紙によるPRをはじめ、自治会単位での加入説明会や、重点地区を設定し、個別訪問を実施するなど、さらなる加入率の向上に努めていく。

Q ばらタクの町外指定医療機関を拡充してはどうか

A 財政的負担を考慮しつつ、前向きに検討していきたい

神戸町の高齢化率は 33%で増加傾向である。

また、日常生活での移動に不便を感じている人も多くいると聞く。

そのような中で、ばら

タクサービス事業にはますます期待が高まると思われるが、次の点についていくのか。

- (1) 池田町にある新生病院をばらタクサービス事業の4番目の町外指定医療機関に追加する考えはないか。
- (2) ばらタクのタクシー不足についてどう対処していくのか。

A 町長

- (1) 西濃圏域救急病院医療機関であり、多くの町民の方が利用されている。また、大垣市民病院・大垣徳洲会病院・西濃厚生病院に次ぐ、4番目の受診者数となっている。財政的負担を考慮しつつ、前向きに検討していく。
- (2) ドライバーが不足しており、配車するタクシーも足りない状況である。タクシー会社に対して、引き続き働きかけていく。

Q 一人暮らしの高齢者の見守り、安否確認について

- (3) 高齢者の外出、社会参加の拡大等を支援するため、シニアカーの購入助成をしてはどうか。
- (3) 安八郡広域連合では、介護保険適用となる貸与を行っていないのが現状である。

そのため、今後の検討課題とする。

A 町長

一つ目は、「緊急通報システム事業」。急病や事故

一人ですら高齢者の割合が高くなってきている。安心して生活が送れるように地域全体で支えていく必要があると思う。神戸町では、どのような高齢者支援の取り組みを行っているのか。

Q 自立外出できない高齢者・障がい者の選挙投票支援について

- 等が起きたときに、直接大垣消防本部内の緊急通報センターに通報できるシステムである。
- 二つ目は、「在宅高齢者等見守り配食サービス事業」。安否確認を兼ねて、昼食、夕食の配達を行うサービスである。
- 三つ目は、「友愛訪問」。希望された独居の方を、民生児童委員が月一回訪問し、近況の把握と激励を行っている。

投票に行きたくても行けない高齢者、障がい者等が投票できる選挙投票

A 選挙管理委員会書記

寝たきりなどの自立外出できない高齢者や、身体障がい者の方については、郵便投票による不在者投票の制度がある。

そのほかには、指定老人ホーム、指定病院等に入所、または入院されている方は、その施設内で不在者投票をすることができる。

引き続き、国の動向を注視し、今後も調査・研究していきたい。

宮川一美 議員



新しくなった新生病院（池田町本郷）

Q

学校給食での地産地消を推進するため 数値目標を設定してはどうか

A

学校給食運営委員会などで協議していきたい

小川榮一 議員



- (1) 岐阜県の令和5年度の「学校給食地産地消統計」では、神戸町は県平均より下回っている。地産地消を推進するため、数値目標を設定してはどうか。
- (2) 地産地消の安全でおいしい給食を推進していくために、「(仮称)「食育推進基金」を創設してはどうか。

A 教育長

- (1) 学校給食における地産地消は、地元の食料や食文化を学ぶ重要な取り組みの一環である。地場産品を通じて、地域について理解を深め、生産者の努力や食に対する感謝の気持ちを育む上でも重要である。また、地域経済を活性化させる効果もある。
- 神戸町では、数値目標は定めていないが、月の半数以上は神戸町産の食材を取り入れるよう努めており、令和5年度は、小松菜・グリーンねぎなど、年間約3.1トンを使用した。
- 数値目標の設定に関しては、今後、栄養バランスや献立内容を考慮した上で、学校給食運営委員会などで協議していきたい。

Q 養老鉄道について

- (2) 現時点では、基金の導入は考えていないが、他市町の事例を参考にしつつ、今後の研究課題としていきたい。

A 町長

- (1) 車両故障・事故時の無人駅で待っている乗客への情報提供は、どうなっているのか。
- (2) 沿線住民から、線路沿いの草への苦情を聞く。除草対策は、どうなっているのか。
- (1) 運転見合わせ時における無人駅の乗客への情報提供について、養老鉄道では、大垣駅から全駅に一斉に放送設備を通じて、運行情報について案内を行っているほか、養老鉄道のホームページで、お知らせをしている。

Q 職員の宿直について

A 町長

- (2) 沿線の除草については、(一社)養老線管理機構が計画的に行っている。
- 区長を通じて除草の依頼があった場合は、速やかに管理機構に対し、当該箇所の除草を要請する。
- 近隣自治体で、宿直を民間委託に移行するところがあるので。
- 神戸町ではどのように考えているのか。
- 宿直業務については、戸籍関係等の住民サービスの影響、また、災害時への対応などの課題があり、現時点では、民間委託の導入については考えていない。

Q 都市再生整備計画を利用した中央公民館の改修工事等のスケジュールは

A 令和8年1月から8月末までを予定している

平成23年3月に発生した東日本大震災において多数の建築物の天井が脱落し、甚大な被害が発生した。

そこで建築基準法施行令等が平成26年4月1日より施行され、それにより各小学校体育館の天井も外された。

都市再生整備計画事業を活用して中央公民館等の改修工事が計画されている。

(1) 中央公民館等の今後の改修工事等のスケジュールや計画はどうなっているか。

(2) 工事期間中、代替施設はあるのか。

A 町長

(1) 中央公民館の改修事業は、現行の建築基準

法上「既存不適格」となっている大ホール、

及び3階大会議室天井の耐震改修、並びに現

状599席の座席を十分な座席間隔を確保し

た460席前後への座席設置の変更等を計画

している。

昨年度に基本設計、今年度は実施設計を進

めている。来年度の夏頃を目途に入札、契約

を予定している。

なお、工事予定期間

は、来年度の出初式・

飛翔二十歳を祝う会終了後の令和8年1月から8月末までを予定している。

(2) 3階大会議室については、2階・3階会議

室や2階和室会議室等をご利用いただくよう

周知していきたい。

大ホールについては

町内に代替施設がないため、各種団体には早

期の周知に努め、利用

時期の変更等についてご協力いただきたい。

Q ばらタクサービス事業について

令和5年10月1日か

ら、大垣市民病院・大垣徳洲会病院・西濃厚生病

院の3つの町外指定医療機関に拡大され、午前8

時から午後9時までの利用時間となっている。

(1) 町外の3つの指定医療機関へ拡充した後の、

ばらタクの利用台数は、

(2) ばらタクサービス事業に対して、現在タク

シーは何台確保されているか。

(3) 今後、ばらタクの利用範囲等の変更は考えているか。

A 町長

(1) 一年間で、町外指定医療機関への利用台数は、合計で3280台、

月平均273台となっている。

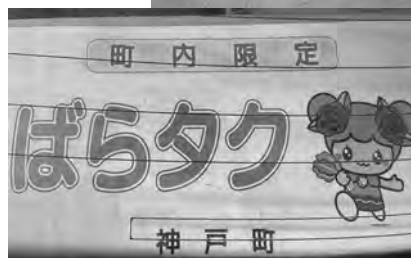
(2) 町内に常時8台ほどの車両が待機しており、混雑時には、近隣

市町の待機所に配車要請し、対応している。

(3) 町外指定医療機関の拡充については、受診

者数や経費負担増等を見極めながら、検討

していきたい。



大場光晴 議員



防災意識の向上と、情報共有のあり方は

A

あらゆる機会での防災意識の向上に努め、
 ごうど情報アプリの防災機能を強化していきたい

宮嶋健太郎 議員



風水害を対象とした災害図上訓練の様子

昨年の元旦に能登半島地震が起き、8月には台風10号によって、神戸町でも農作物の被害が出た。防災意識を高め、情報をどう町民に届けるかが大切と考える。

(1) 利用度の高い神戸公式ラインに防災機能（河川水位、災害通報、マイタイムラインやデジタル避難訓練、防災クイズ等）を集約し、コンテンツ化しては、

(2) 各地域や防災リーダー向けに防災講座が

A 町長

行われているが、全町民向けの開かれた防災講座が最近実施されていない。台風10号で神戸町も被害を受けており、全町民対象、洪水対応の講座を行っている。

(3) 防災意識の向上策として、小学生向けに防災カードゲームを実施している他市町の事例があるが、神戸町でも取り入れては。

(1) ごうど情報アプリにおいて、防災行政無線のデジタル化への更新に伴う防災無線放送との連携をはじめ、防災機能を強化するとともに、ライン等との連携についても調査・研究していきたい。

(2) 町総合防災訓練は、これまで避難所運営訓練を中心に実施してきたが、昨年度から風水害を対象とした災害図

Q デジタル教育について

上訓練に変更している。

今後とも住民の方が防災について学べる機会を積極的に作ってきたい。

(3) 近隣市町の情報収集を行いながら、学校とも連携し、調査・研究していきたい。

A 教育長

(1) GIGAスクール構想の成果と課題は。

(2) 情報を鵜呑みにしないリテラシー教育が今まで以上に必要と考えるが、今後さらに拡充してはどうか。

(1) 成果としては、ICT機器を活用することで、児童生徒の個別最適化学習が進み、興味関心を高めることで学習意欲の向上に寄与し、児童生徒同士の協

働的な学びが促進されている。課題としては、一人一台のタブレットを授業と家庭学習の連動にまで生かすことができていないことや、児童生徒が情報の取捨選択を適切に行えない場合があることである。

(2) メディアリテラシーについては、今後さらに推進していく必要がある。教職員がメディアリテラシーの重要性を理解し、効果的に指導できるようにするための研修を実施すること、専門家を外部講師として招いて、特別授業やワークショップを開催すること、保護者向けに情報提供や啓発を行なうことも必要であると考えられる。

先行事例を参考に、優れた教材を活用しながら授業を進めていきたい。

Q

新年度予算編成の基本的な考え方を問う

A

社会情勢を的確にとらえ、弾力的な予算編成を行っていききたい

鈴木愛子 議員

現在、新年度予算編成作業が行われている。我が党は例年のように、11月27日、神戸町に対して新年度予算の要望を提出した。

- (1) 新年度予算編成に臨む基本的な考え方と、異常な物価高に苦しむ住民への生活支援策をどのように考えているか。

- (2) 現在進めている「小学校の体育館のエアコンの設置」を前倒しして実施できないか。

A 町長

- (1) 物価高騰による家計への影響は、極めて厳しいことは十分承知している。

このようなことを踏まえ、物価高騰対策の支援策をはじめ、安心・安全の向上に重点配分するなど、町民の皆様の生活を守り、支える施策を着実に進めていきたい。

- (2) 近隣市町に先駆けて、小学校体育館の空調設置事業を進めており、令和6年度には、神戸小学校への設置を完了した。

来年度以降も、財政面を考慮しつつ、かつ、避難所の確保や施設開放の観点から、順次設置工事を進めていく予定である。

Q

町民体育館の天井剥離の落下による一部「使用不可」について

スポーツや社会教育活動の振興にとって、体育館の有効使用は重要な条件である。

しかし現在、その町民体育館が「使用制限」となり、何とか早期改修はできないのかという声を聞いている。

1979年3月に建設され45年が経過しており、現状の把握に時間が必要かもしれないが、早期改修ができないものか。

A 町長

12月定例会において、落下原因の調査委託経費を補正予算に計上し、天井部材の調査を実施する。

落下原因を特定したうえで、修繕工事を進め、安全・安心に施設が利用できるよう、早期の体育館の利用再開を行う予定である。

今後は、令和7年度中に「町民体育館耐震補強計画」の策定を行い、この計画に基づいて、体育館の改修に対する今後の方向性を検討していく。



一部使用不可の町民体育館

議会の動き（11月～1月）

11月

- 18日（月）議会運営委員会
- 21日（木）市町村議会議員セミナー
- 25日（月）全員協議会
JA 厚生連説明会

12月

- 2日（月）第5回定例会（初日）
神戸小学校屋内運動場現地視察
- 4日（水）民生文教常任委員会
- 5日（木）総務建設常任委員会
- 11日（水）第5回定例会（一般質問）
- 12日（木）第5回定例会（議案審議）
全員協議会
議会改革特別委員会

1月

- 10日（金）議会運営委員会
広報編集特別委員会
- 17日（金）広報編集特別委員会
全員協議会
第1回臨時会
- 20日（月）
市町村長等・議会議員
特別セミナー
- 21日（火）
- 29日（水）議会フレイルチェック会
議会交流会



3月定例会のお知らせ

☆会期の日程

- 3月3日（月）
開会、議案の説明
- 3月12日（水）
一般質問
- 3月13日（木）
議案の審議

☆場所

役場3階 議場

☆時間

午前9時30分から



善学院本堂

ふるさと再発見

表紙の写真は、大晦日の神戸町大字神戸の影向山神護寺善学院本堂です。除夜の鐘が始まる頃にキャンドルが灯され、このライトアップは、10年以上続いています。

善学院本堂は、昭和33年9月30日に町重要文化財に指定されています。藤原時代の建築様式である寝殿造りで、本堂の中陣の柱は、手斧造りになります。柱の角が大きく面をとってあるのが特徴です。一部の柱は、開基当時のものと伝えられています。藤原時代の客殿に外陣、余間を建て増やしたものであり、中陣内陣の遺構は藤原期の特徴を持った貴重な建築物です。